

磐城時報

編輯兼發行所 石城郡平町新屋町十四
印刷所 石城郡平町新屋町十四
電話 一四七、一四八、一四九
代印所 石城郡平町新屋町十四
廣告料 一行十四字 一月金拾圓
印刷料 一行十四字 一月金拾圓
日刊(日曜、祭日、休日、休刊)

平屠殺場を 平町で買収する

委員五名に調査を依頼

平町正内町の平屠場株式會社は、資本金二萬圓で最近五ヶ年間の統計によるその成績は好況時代の約半減の利益であるが、それでも一ヶ年平均飼養料二千六百七十五圓九十二錢に達し諸経費七百七十六圓三十九錢を引くと千八百九十六圓五十五錢の純利益金がある、而して又同會社が平町にあるため町税として徴収する額は一ヶ年平均千二百二十八圓五十一錢、重役報酬並に雇人給料は二千三百十圓五十錢で非常に利益のある會社であるから平町が買収して町營としたいといふ議員があり、町議荒川淺次郎氏數名が八日平町會に建議したが、町會では之を採擇した上委員として

白銀町の區長は 吉田喜代治氏に決定

草野、加藤兩氏共落膽

平町字白銀町區長問題は草野清つたが、石城地方に來たらしい治、加藤康兩氏が互に競争して、加藤氏が過半数の町會に於て保留となつたが、八日平町會頭の問題について平町當局では右兩氏共推薦せず同町吉田喜代治氏を推薦したため議論が沸騰したが結局十四對十二の投票で吉田氏を推薦する事に決定した。

運賃割戻陳情

石城の各炭礦では鐵道省で今回運賃増徴策として責任付運賃割戻制度を實施し各地の特産物中運賃を割引け

役場敷地 賣却に決定

平町現役場敷地三百六十三坪を 一坪五十圓總額格一萬八千餘圓 で平町白銀町醫師清水廣政氏が 買収したいと町當局に願出でた

事既報の如くであるが、八日平町會に於て協議の結果契約成立と同時に五千圓、本年十二月五

兵事事務打合

四倉警察署管内兵事主任會は九日午後八時より同署會議室に於て開催、兵事事務の打合せをなした

平局の公金横領の 桑原庸夫捕はる

朝鮮平城に於て

平郵便局庶務係東京市生れ桑原庸夫(三八)は一昨年から自分の湯銭値下げは何人も至當と取扱つてゐた郵便切手、収入印認むるところであり時季も夏の紙等並にその賣上代金一萬六千餘圓燃料關係から見ても値下斷行に余圓を横領し平町新田町料理店都合より實現確實と見られ三益外敷ケ所で平藝妓を總あげが、現在の平町内湯銭は大人して豪遊を極め平署に探知さる四錢で値下實行に至れば三錢以下に於ては全額警察署に於て搜索中の處七日朝鮮平城本町に於て遂に逮捕された旨平署に電があつたので平署では身柄引取る與論を是認し、湯屋營業組合幹部を集めると同時に湯屋營業組合幹部も招き同様に湯銭値下げの懸拂はぬので平署に説諭方を願ひ出た。

仁井田浦に 遊覽船

石城郡大浦村仁井田浦に料理屋を營業してゐる關口商店では此程二十人乗りの遊覽船二隻を建造したが、十日進水式を舉行する。

湯銭と理髮料 値下げ運動

平地方は石炭の原産地でありその上現今は炭價大暴落により燃料を用ゆる營業者即ち同地方の浴場營業者等は非常に惠まれて居り、一般から湯銭値下げを至當とする聲があげられるに至つたが、最近東京方面ですら湯銭一圓五錢を四錢に値下げする状態にあるに鑑み平署では大いに考へるところあり、近く平町内二十四軒の湯屋營業者中から幹部數名を本署に招致し荒井署長から値下げ問題について懇談

野趣に富む麥燒

今磐城地方を夜汽車で通ると窓外の闇の彼方に麥を燒く音が高く底く眺められ、この漫々たる野趣は都會人士をして思はず快哉を叫ばしめる。

本年もポンプで揚水

平町水道は現在に於ては好間川であるが、夏期に向つて來た、から毎秒一個一分七厘を取水し使用量が増加し七月一日から

神原部長榮轉 平署巡查異動

平署管内駐在巡查に今回左の如き異動が行はれた

古物商違反

石城郡四倉町字新町古物商伊本龜春(四七)は七月五日四倉新町鈴木宇之松より漁船用二十五馬力發動機のメッキ機玉三個(價格約三十圓)を買受けたが、右機玉は同町漁業家菅波末吉所有船の器具を鈴木宇之松及同町齋藤新吉の兩名が窃盜して伊本龜春に賣却せしものと判明、四倉署長山形氏が檢擧したが、伊本は余罪ある見込みである。

一日	一〇四、五四四立方尺
二日	一〇七、二四四
三日	一一四、一一八
四日	一一八、五二二
五日	一二七、五〇四
六日	一一六、七二二
七日	九九、六四八

江名運送店 運賃を拂はぬ

石城郡江名町江名運送店では東京芝罘一丁目天龍運送店に支拂ふべき運賃九十五圓五十錢を支拂はぬので平署に説諭方を願ひ出た。

野趣に富む麥燒

今磐城地方を夜汽車で通ると窓外の闇の彼方に麥を燒く音が高く底く眺められ、この漫々たる野趣は都會人士をして思はず快哉を叫ばしめる。

野趣に富む麥燒

今磐城地方を夜汽車で通ると窓外の闇の彼方に麥を燒く音が高く底く眺められ、この漫々たる野趣は都會人士をして思はず快哉を叫ばしめる。

野趣に富む麥燒

今磐城地方を夜汽車で通ると窓外の闇の彼方に麥を燒く音が高く底く眺められ、この漫々たる野趣は都會人士をして思はず快哉を叫ばしめる。

野趣に富む麥燒

今磐城地方を夜汽車で通ると窓外の闇の彼方に麥を燒く音が高く底く眺められ、この漫々たる野趣は都會人士をして思はず快哉を叫ばしめる。

野趣に富む麥燒

今磐城地方を夜汽車で通ると窓外の闇の彼方に麥を燒く音が高く底く眺められ、この漫々たる野趣は都會人士をして思はず快哉を叫ばしめる。

野趣に富む麥燒

今磐城地方を夜汽車で通ると窓外の闇の彼方に麥を燒く音が高く底く眺められ、この漫々たる野趣は都會人士をして思はず快哉を叫ばしめる。

菊地氏が 幼児を救ふ

四倉町字仲須賀町金之助孫吉田保(五ツ)は七月七日午後三時頃四倉座前の堺川に轉落し溺死せんとしてゐるのを通行中の四倉驛前菊地高氏が発見し着衣のまま、河中に飛び込み救助した。

▲宿料踏倒し

安達郡高河村字中山生れ當時住所不定無職佐藤正義(三〇)は昨年四月石城郡四倉町新町鈴木屋旅館に投宿し宿泊料並に酒代八圓余を踏倒して逃走したが、八日四倉町徘徊中捕はれた。

時報文藝

(歌) 四面楚歌のメロデー

飯村 開舟

すみれ咲く野にたわむれて遊ぶ子の苦もなげきも無きぞうらやむ。

ひばりさへ囀る春の野の色や時めく夢はおさなかりけり。初夏の青菜いろどる畑より小雀の聲もれてきこゆる。

ふけゆけば山はたそがる初夏の遠かに雲かそかにぞ浮くなみだ拭き父なき君と語るまの足に露けき野草踏みたる。かなしみを誰にわかなん夕闇の明るくもなし胸の鈍れぞ。のしられ我にかへれる淋しさを君のあつきに慰めらる。せにはやみ流れは早し吾が年のとりごめもなくふけゆくかわれ。

(民謡) 磐城海濱 一 磯の濱

磯にいかよひのつばくら啼くよ風は風ぎましょ

葵 花物 五色物

安く譲ります

平町新川町(郵便局裏)

中野勇吉

電話一三三番

鼻の薬「チクノール」

平五 山野遊樂局

佛國マルソー會社元詰
生葡萄酒
 マルソー・アランク・白 1.10
 マルソー・ルージュ・赤
 良品にして安價賣行飛ぶが如し。
西村屋藥局

貸切自動車は

乗心持のよい

磐城タクシーへ

電話四五四番(平驛前)

専門内科一般

内科ハ何デモ診療致マス
呼吸器病バカリデハアリマセン

平町南町六五(電話七三三番)

川井内科診療所

醫學士 川井重子
女醫 川井安子

愈々海水浴のシーズン

は來ました

是非...四倉脱衣所組合へ

本年は不況の折柄特に

平 四倉間 自動車往復...食券付 一枚金九十五錢

但し團體の際は特に御相談に應じます

開期 七月十日ヨリ...九月十日マデ

申込所 平町田町 初音 電話二三六番

耳鼻咽喉科専門 氣管食道科門

病室完備...自炊の便あり

平町南町 大和田醫院 電話一七〇番

平新川町十九 木村病院

電話一六四

産科 院長 木村寅次郎
婦人科 女醫 木村コウ
内臓外科 醫學士 松永憲一
整形外科 醫學士 萩原駿二
藥局 東京藥學士 萩原駿二

吉田眼科病院

平町紺屋町 電話六八番

初夏の御用は ツルヤ

新緑の初夏が訪れました。帽子、シャツ、ネクタイ、沓下、バラソール、日傘等。實用品や高級品の數々が豊富に陳列されました。旅行や外出時の装身具。軽快なステッキまで。宵の散歩には...

平町四丁目

ツルヤ 電話一四四

和洋銅鐵金物問屋 釜屋商店

諸橋守次 電話九番・一三九番

衛生試験所

検便一回 金十五錢 其他 牛乳 検尿一回一種 金二十錢 水 鑽石等

産兒制限相談所 (無料)

消毒所 (蒲團一枚 一圓五十錢以上 衣類一枚 三十錢以上)

月やく強流下藥專賣所「京都、西山研究所製」

平町三丁目

子宮美人丸特約店 宇佐美藥局 電話一六六番

タクシーの御用命は

新しい氣持のよい

昭和タクシーへ

電話三四三番